



真城っ子

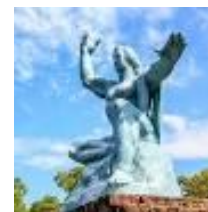
やさしいっばい

かしこいっばい

たくましいっばい



8.9 長崎県民祈りの日



今日は、今から81年前、広島と長崎に原子爆弾が落とされました。原爆で亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、二度と戦争をしないで、みんなで平和な世界をつくりますと誓うために、集会をしています。今日一日、日本中の人々が、特に長崎県の方は、平和について考え、平和が続くように祈り、平和を守る誓いをする日になります。これまで、みんなで折り鶴を折ったり、原爆のお話を聞いたり、「この時代に」の歌の練習をしたりしてきました。これまでの平和についての学習を思い出しながら、歌って下さいね。

皆さんが折ったこんなにきれいな千羽鶴を見ていると、「折り鶴の少女」と言われた佐々木貞子ちゃんのことを思い出します。貞子ちゃんは、1945年8月6日、2歳の時に、広島に落とされた原子爆弾の放射能を浴びて被爆します。でも、貞子ちゃんは元気に育ち、体育が得意で、将来は「中学校の体育の先生になりたい」と思っていました。小学校6年生の時には学年で一番足が速く、運動会ではリレーの選手として大活躍して、チームの優勝に貢献しました。

ところが、その後すぐに体の具合が悪くなり、大きな病院で調べてもらったところ、原爆が原因の病気であることが分かりました。長くてもあと1年の命と診断され、すぐに入院しました。しばらくして、小学校を卒業し、中学生になりましたが、退院することができず、卒業式も入学式も出られませんでした。



病院には日本各地からお見舞いの折り鶴が送られ始め、貞子ちゃんも病気を治したいと思い、病院でも「折り鶴を千羽折れば元気なる」と励まされ、折り鶴を折り続けました。8月頃には、1000羽を越えましたが、「もう千羽おるわ」と言っ、折り続けました。でも、病気は回復することなく、6年生の運動会から1年後の10月25日になくなりました。わずか、12年間しか生きられませんでした。もっと生きたかったでしょう。まだ、やりたいことがたくさんあったでしょう。

みなさんには、大切な命を、今まで以上もっと大切にしてほしいのです。

- あなたたち一人一人は、家族や友だち、先生方にとって、とても大切な存在で、その命はかけがえのないものです。
- 人は誰でも、心が苦しいときがあり、不安や悩みを抱えることがあります。
- 心が苦しい時は、自分一人で抱え込まず、誰かに相談することが大切です。あなたの周りには、家族や友だち、先生方など、話を聞いてくれる人がいます。
- もし、あなたの周りに苦しんでいる人がいたら、話を聞いてあげると、苦しんでいる人の心が軽くなります。
- どんな苦しさもいつまでもつづくものではなく、必ず新しい生活が始まり、心の様子も変わっていきます。



わたしたちの諫早市には、「平和都市諫早宣言」が制定されています。知っていましたか。みんなで読んでみましょう。ちょっと長いので、覚えるのは無理でしょう。3つだけ、大事な言葉を言いますから、この3つだけは覚えて帰ってください。「楽しく生きる」、「友とちからを合わせよう」、「やさしい心で」

平和は、わたしたちが暮らす諫早市から、ここ真城小学校から、広げていきたいものです。真城小には、お友だちのことをやさしく思いやれる真城っ子でいっぱいです。そんな真城小は、みんなの命が大切にされる素敵な素敵な学校です。

やさしさ いっぱい

かしこさ いっぱい

たくましさ いっぱい 真城小

平和都市諫早宣言
　　～輝く未来　いのちのために～
わたしの願い
それは家族の幸せ　友の笑顔
みんなと生きる　楽しく生きる
そのために　世界を平和にしよう
争いを　核兵器をなくそう
永遠の平和
それはみんなの願い　地球の願い
輝く未来　つながるいのち
そのために　わたしからがんばろう
友とちからを合わせよう
いま　このまちからはじめよう
被爆地長崎のかなしみを忘れずに
優しいこころ　尊いいのち
ひとが輝く諫早市
わたしたちは
非核と平和の都市を宣言します
平成十七年九月二十九日

SNS 世界各国で子どもの利用規制

海外で子供のSNS利用規制が相次いでいる		国家としては世界で初めて16歳未満の利用を禁止(2025年12月)
		フロリダ州が14歳未満のアカウント作成を禁止する法律を制定(24年3月)
		保護者の監督のない13歳未満の利用を制限する方針を表明(26年7月)
		来春をめどに16歳未満の利用を禁止すると発表(26年6月)
		アジアで初めて16歳未満の利用を禁止(26年3月)
		16歳未満の利用を禁止(26年6月)
※各国報道などを基に作成		

【ブリュッセル＝上杉洋司】欧州連合（EU）の執行機関・欧州委員会のウルズラ・フォンデアライエン委員長は13日、子供のSNS利用について「年齢に応じた制限が必要なのは明らかだ」と述べ、今秋にも規制案を加盟国に提示する方針を示した。

（YahooNews2026.7.14）

多くの国や地域で、子どものSNS利用規制が始まっています。日本では、各アプリの年齢制限以外の規制はなく、利用者（子ども）の良識ある判断・行動に任されています。

▲いじめ ▲個人情報流出 ▲誘拐・性被害 ▲闇バイト

▲詐欺被害 ▲昼夜逆転 ▲依存症 ▲学習意欲減退 etc

SNSの不適正な使用、ゲームの長時間利用等による様々な悪影響が言われ続けています。規制がない日本において、このような悪影響から子どもを守るためには、誰が、何をすればいいのか。記述するまでもありませんよね。

自分が大好き -自己肯定感・自律心-

自分を、今より素敵な人へと、確実に成長させる魔法の言葉を紹介します。それは、「だれも見えていないときの自分を、自分で好きだと言えますか」という自分への問いかけです。先生が見ているからちゃんとする。お家の人に言われたからする。叱られたくないからやめる。これでは、本当に成長したとは言えません。本当に立派な人というのは、誰かが見ていようと、見ていまいと、**いつでも自分で正しいことを選べる人**です。

一日の終わりに、この言葉を思い出して、自分に問いかけてください。

「**だれも見えていないときの自分を、自分で好きだと言えますか**」

人は見ていなくても、自分の心は全部見えています。その心に胸を張って返せるような生活をしていってください。夏休み中に「はい、自分が大好きです。正しいことや自分すべきことを、きちんとできています。自分のことは自分で決めて、自分の責任でやりとおしています」と、答えられるようになった人は、真城小キラキラ・マイスターです。

（1学期終業式より）

